



ロボットプログラミングに挑戦



Creating your idea, sophisticated and uniquely distinctive

2016年7月12日（火）、10名の参加者によってソビーゴのロボットプログラミングワークショップが行われました。いちごジャムというとても小さなコンピューターはBASICでコードを入力可能。そして各アクチュエーターを制御するためのサーキットにつないで、ソビーゴ（ロボット）を動かします。なんととっても白黒の画面に、「CLS, LOAD, LIST, SAVE」などのコマンドを直接キー入力するのがとても新鮮でした。本当に限られた命令の中で、「知恵と工夫」で想像力豊かにアイデアを具体的なものに生み出していく仕事は本当に面白く実に教育的であると思いました。

段ボールロボットの工夫も見事で、その組立はデザイナーの型を学ぶ過程として実に良い。いずれその型をやぶって新しいものをつくってやろうとする挑戦する気持ちを掻き立てるに十分なものでした。「いちごジャム」「ソビーゴ」見かけも可愛らしいが、教育的にはかなり面白いものであると思いました。コーディングするためには、モニターやキーボードなどが必要だが、それらは今ジャンク品で安く入手可能であり、そういったことも面白い。手作り感あふれ、いたずら心をくすぐられ、洗練されたシンプルなコマンド、とにかく没頭してしまった時間でした。（沼田）

